

第6章 まちづくりセンター別人口構造

1 男女、年齢別人口

(1) 性比

北区の「幌北」が107.1で唯一100を超える（第6-1表、第6-1図）

令和2年10月1日現在の性比（女性100人に対する男性の数）をまちづくりセンター別にみると、北区の「幌北」が107.1と唯一100を超えて最も高く、以下、南区の「定山溪」が98.6、中央区の「豊水」が97.9などと続いている。

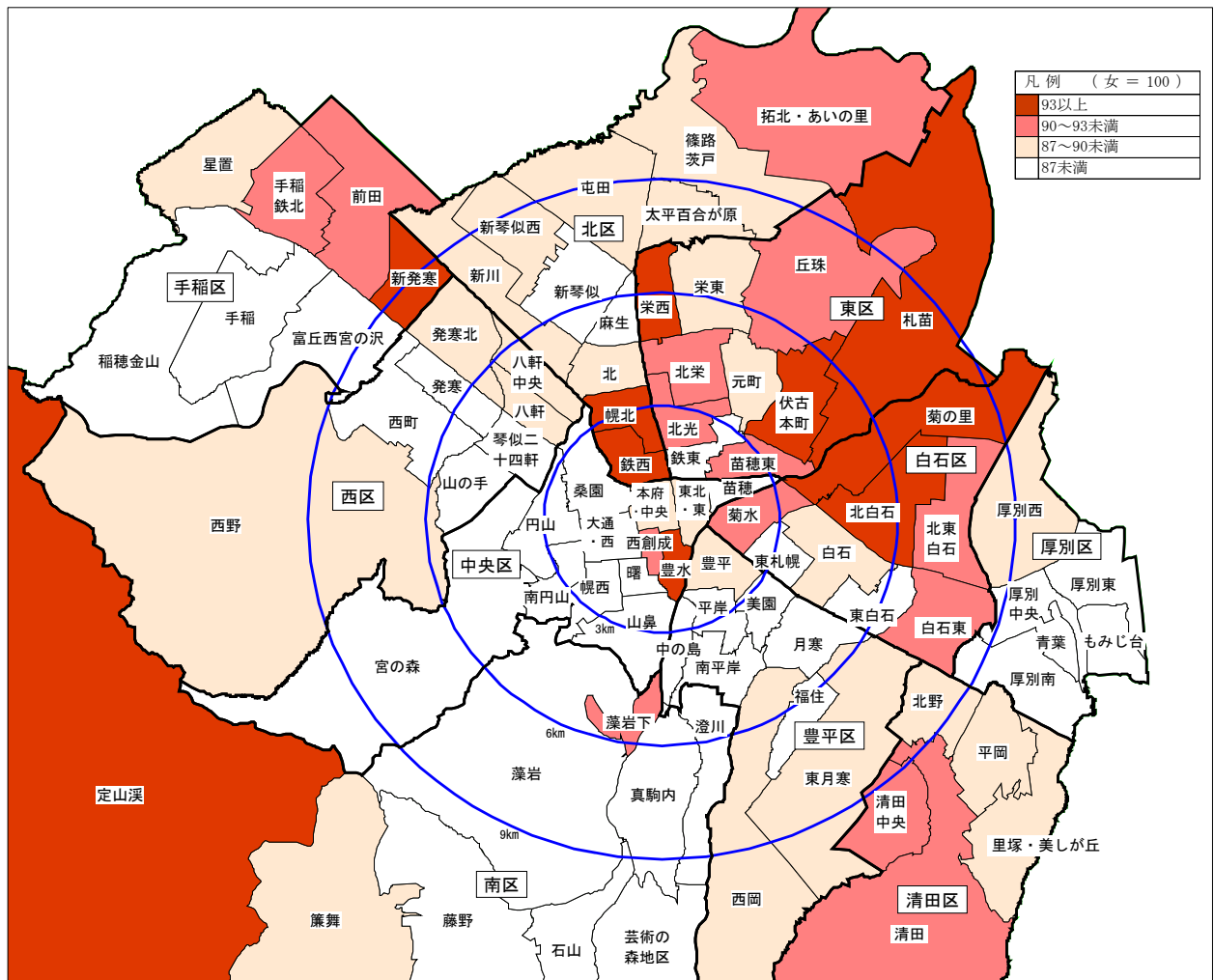
第6-1表 性比の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

令和2年10月1日現在

順位	性比の高いまちづくりセンター		順位	性比の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	性比 (女=100)		まちづくりセンター	性比 (女=100)
1	北) 幌北	107.1	1	厚) 青葉	73.0
2	南) 定山溪	98.6	2	厚) もみじ台	75.1
3	中) 豊水	97.9	3	中) 円山	78.3
4	白) 菊の里	97.7	4	手) 手稲	78.4
5	北) 鉄西	96.4	5	中) 宮の森	79.6
6	東) 伏古本町	94.9	5	西) 琴似二十四軒	79.6
7	東) 栄西	94.1	7	中) 南円山	79.7
7	手) 新発寒	94.1	8	中) 幌西	80.3
9	東) 札苗	93.6	9	北) 麻生	80.4
10	白) 北白石	93.4	10	東) 鉄東	82.0

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-1図 まちづくりセンター別性比（令和2年10月1日現在）



<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

一方、性比の低いまちづくりセンターをみると、厚別区の「青葉」が73.0で最も低く、以下、厚別区の「もみじ台」が75.1、中央区の「円山」が78.3などと続いている。

第6-2表 年少人口割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

年齢「不詳」を除いて算出。

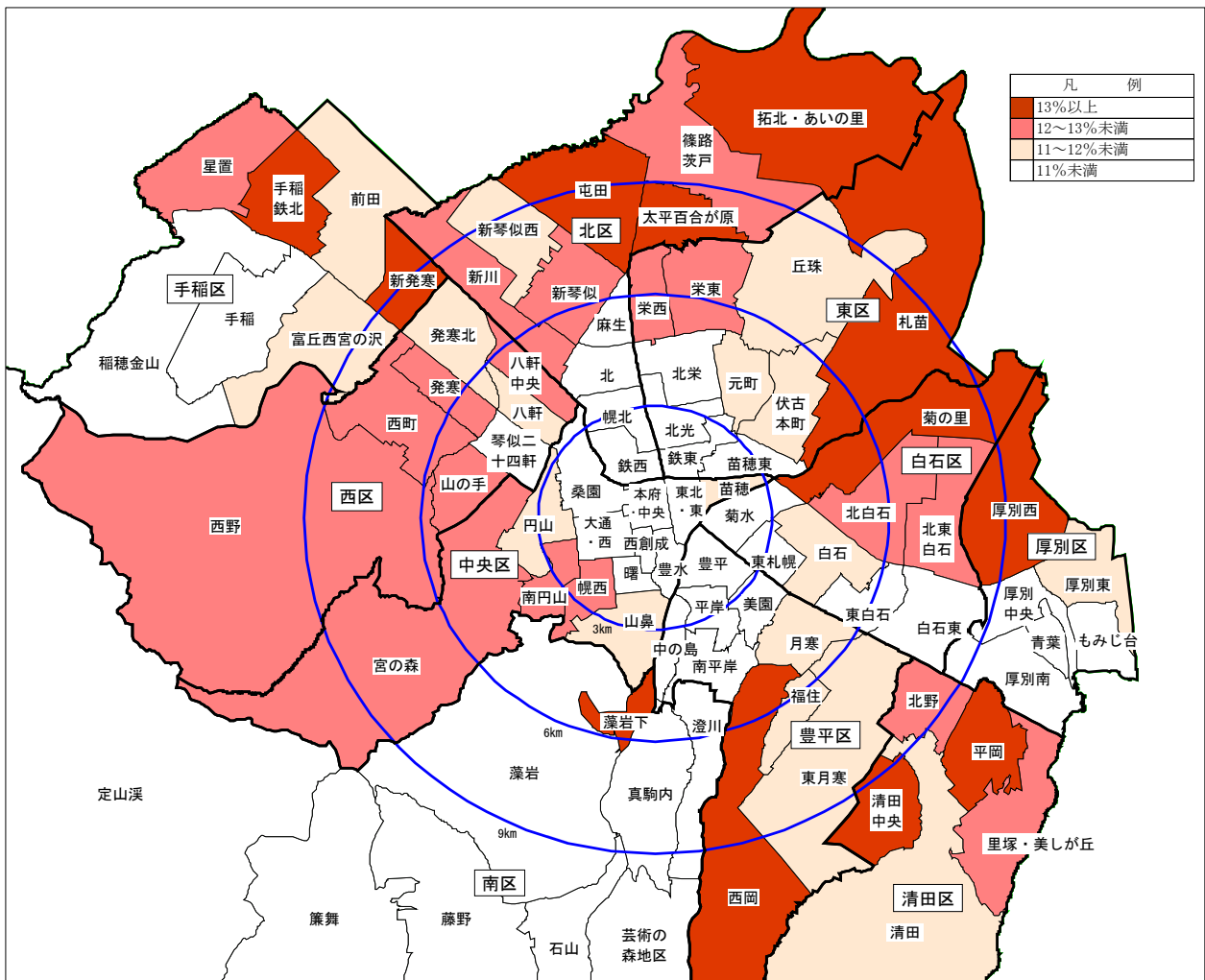
(2) 年齢別人口
年少人口割合は、新興住宅地を含むまちづくりセンターなどで高い(第6-2表、第6-2図)

令和2年10月1日現在の人口をまちづくりセンター別に「年少人口」(0~14歳)、「生産年齢人口」(15~64歳)、「老年人口」(65歳以上)の3区分に分け、年齢「不詳」を除いた総人口に占める割合に注目する。

(単位 %)		令和2年10月1日現在			
順位	年少人口割合の高いまちづくりセンター	割合	順位	年少人口割合の低いまちづくりセンター	割合
	まちづくりセンター			まちづくりセンター	
1	東) 札苗	16.6	1	中) 豊水	4.0
2	北) 屯田	15.6	2	中) 本府・中央	4.3
3	北) 拓北・あいの里	15.2	3	中) 西創成	4.8
4	手) 手稲鉄北	14.2	4	南) 定山溪	5.3
5	清) 清田中央	13.9	5	北) 幌北	5.6
6	手) 新発寒	13.8	6	中) 大通・西	6.7
7	豊) 西岡	13.5	7	北) 麻生	6.8
8	厚) 厚別西	13.4	8	中) 曙	7.0
9	北) 太平百合が原	13.2	9	厚) もみじ台	7.4
10	白) 菊の里	13.1	10	豊) 豊平	7.8
10	南) 藻岩下	13.1			

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-2図 まちづくりセンター別年少人口割合(令和2年10月1日現在)



注： 第6-2表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

年少人口割合の高いまちづくりセンターをみると、東区の「札苗」が16.6%で最も高く、以下、北区の「屯田」が15.6%、北区の「拓北・あいの里」が15.2%などと続いている。新興住宅地を含むまちづくりセンターなどでは、年少人口割合が高い傾向がみられる。

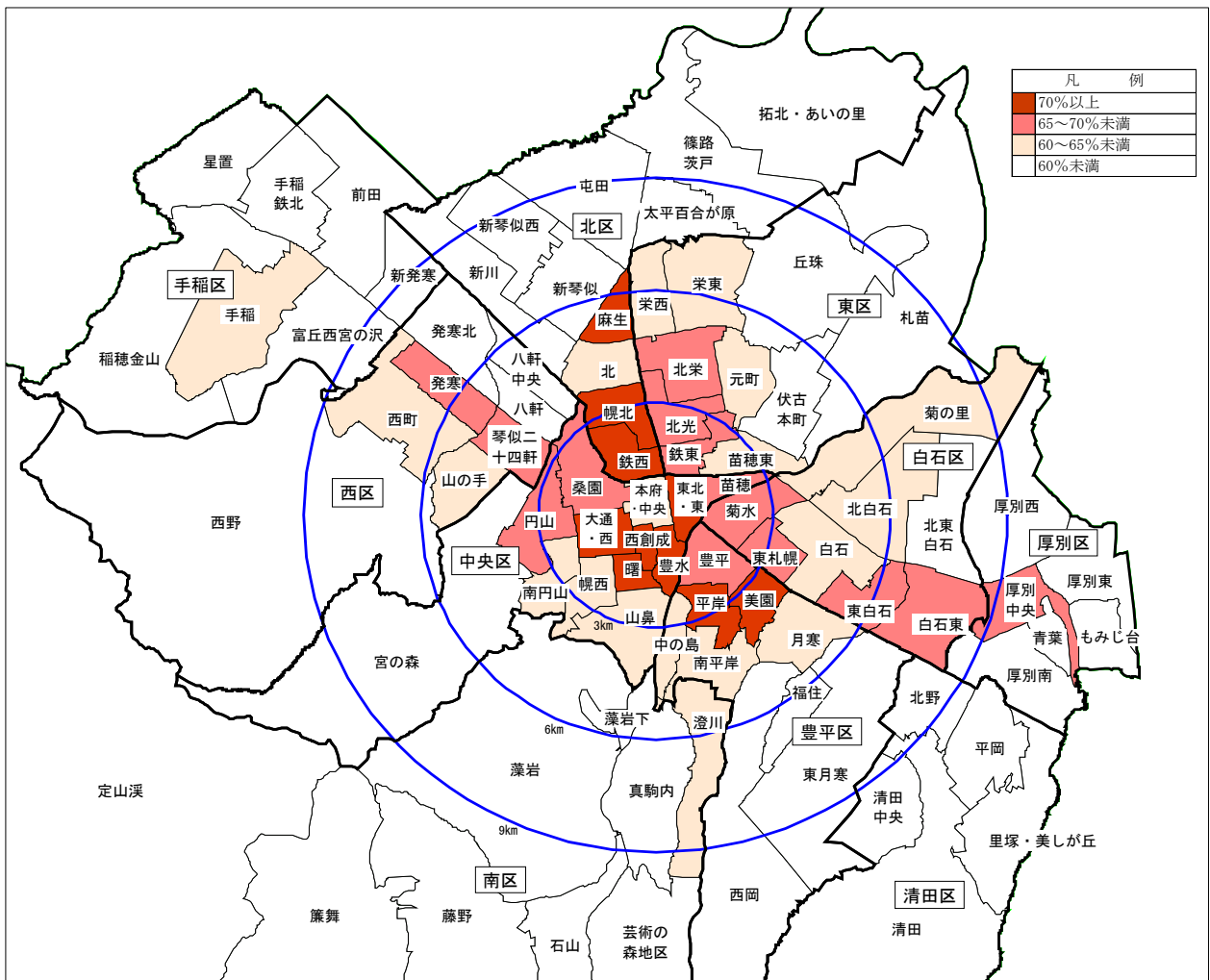
一方、年少人口割合の低いまちづくりセンターをみると、中央区の「豊水」が4.0%で最も低く、以下、中央区の「本府・中央」が4.3%、中央区の「西創成」が4.8%などと続いている。都心から3km未満のまちづくりセンターでは、年少人口割合が低い傾向がみられる。

生産年齢人口割合は、北区の「幌北」が79.5%で最も高い（第6-3表、第6-3図）

生産年齢人口割合の高いまちづくりセンターをみると、北区の「幌北」が79.5%で最も高く、以下、北区の「鉄西」が75.4%、中央区の「東北・東」が74.7%などと続いている。生産年齢人口割合の高いまちづくりセンターは、都心から3km未満の地域や地下鉄沿線の地域に多い傾向がある。

一方、生産年齢人口割合の低いまちづくりセンターをみると、厚別区の「もみじ台」が43.3%で最も低く、以下、厚別区の「青葉」が46.1%、南区の「芸術の森地区」が49.5%となっている。生産年齢人口割合が5割を下回っているのは、この3つのまちづくりセンターのみである。

第6-3図 まちづくりセンター別生産年齢人口割合（令和2年10月1日現在）



注： 第6-3表参照。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

老年人口割合は、厚別区の「もみじ台」が49.3%で5割に迫る

(第6-4表、第6-4図)

老年人口割合の高いまちづくりセンターをみると、厚別区の「もみじ台」が49.3%で5割近くを占めて最も高く、以下、厚別区の「青葉」が45.8%、南区の「芸術の森地区」が40.2%となっている。これら上位3つのまちづくりセンターでは老年人口割合が4割を超えている。老年人口割合の高いまちづくりセンターは、都心から9km以上の地域に多い傾向がみられる。

一方、老年人口割合の低いまちづくりセンターをみると、北区の「幌北」が15.0%で最も低く、以下、北区の「鉄西」が16.6%、中央区の「東北・東」が17.4%などと続いている。老年人口割合の低いまちづくりセンターは、都心から3km未満の地域に多い傾向がみられる。

第6-3表 生産年齢人口割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

年齢「不詳」を除いて算出。

(単位 %) 令和2年10月1日現在

順位	生産年齢人口割合の高いまちづくりセンター		順位	生産年齢人口割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	北) 幌北	79.5	1	厚) もみじ台	43.3
2	北) 鉄西	75.4	2	厚) 青葉	46.1
3	中) 東北・東	74.7	3	南) 芸術の森地区	49.5
4	中) 西創成	74.1	4	南) 石山	50.0
5	中) 大通・西	73.6	5	南) 藤野	51.9
6	北) 麻生	71.0	6	南) 藻岩	52.0
7	中) 豊水	70.6	7	西) 西野	52.2
8	豊) 平岸	70.5	8	東) 丘珠	53.1
9	豊) 美園	70.4	9	北) 新琴似西	53.4
10	中) 曙	70.0	10	清) 北野	53.9

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-4表 老年人口割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

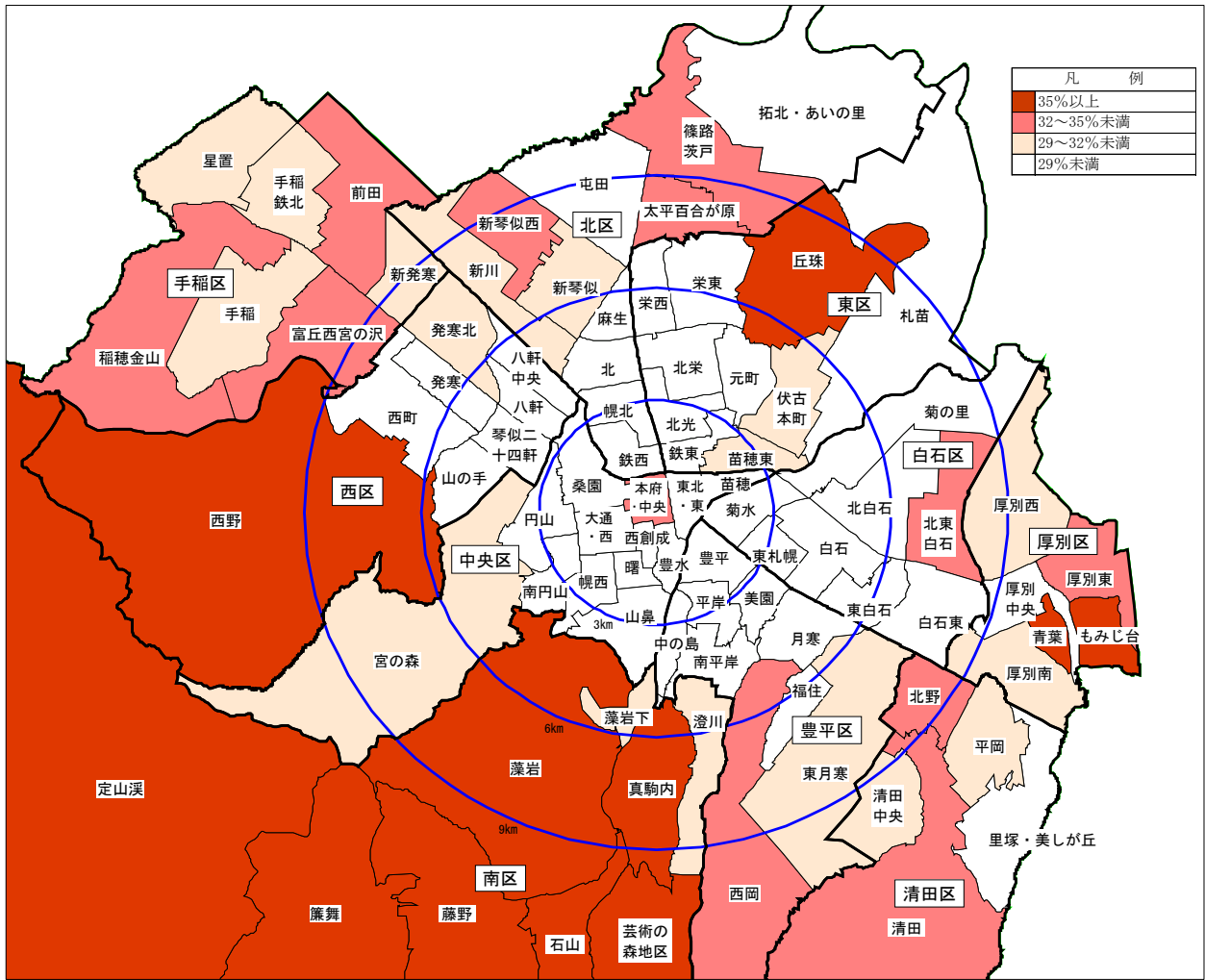
年齢「不詳」を除いて算出。

(単位 %) 令和2年10月1日現在

順位	老年人口割合の高いまちづくりセンター		順位	老年人口割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	厚) もみじ台	49.3	1	北) 幌北	15.0
2	厚) 青葉	45.8	2	北) 鉄西	16.6
3	南) 芸術の森地区	40.2	3	中) 東北・東	17.4
4	南) 石山	39.7	4	豊) 美園	19.7
5	南) 藤野	38.9	5	中) 大通・西	19.8
6	南) 定山溪	38.8	6	白) 菊水	20.2
7	南) 藻岩	38.2	7	豊) 平岸	20.8
8	南) 真駒内	36.0	8	中) 西創成	21.1
9	東) 丘珠	35.7	9	中) 円山	21.7
10	西) 西野	35.3	10	北) 麻生	22.2

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-4図 まちづくりセンター別老年人口割合（令和2年10月1日現在）



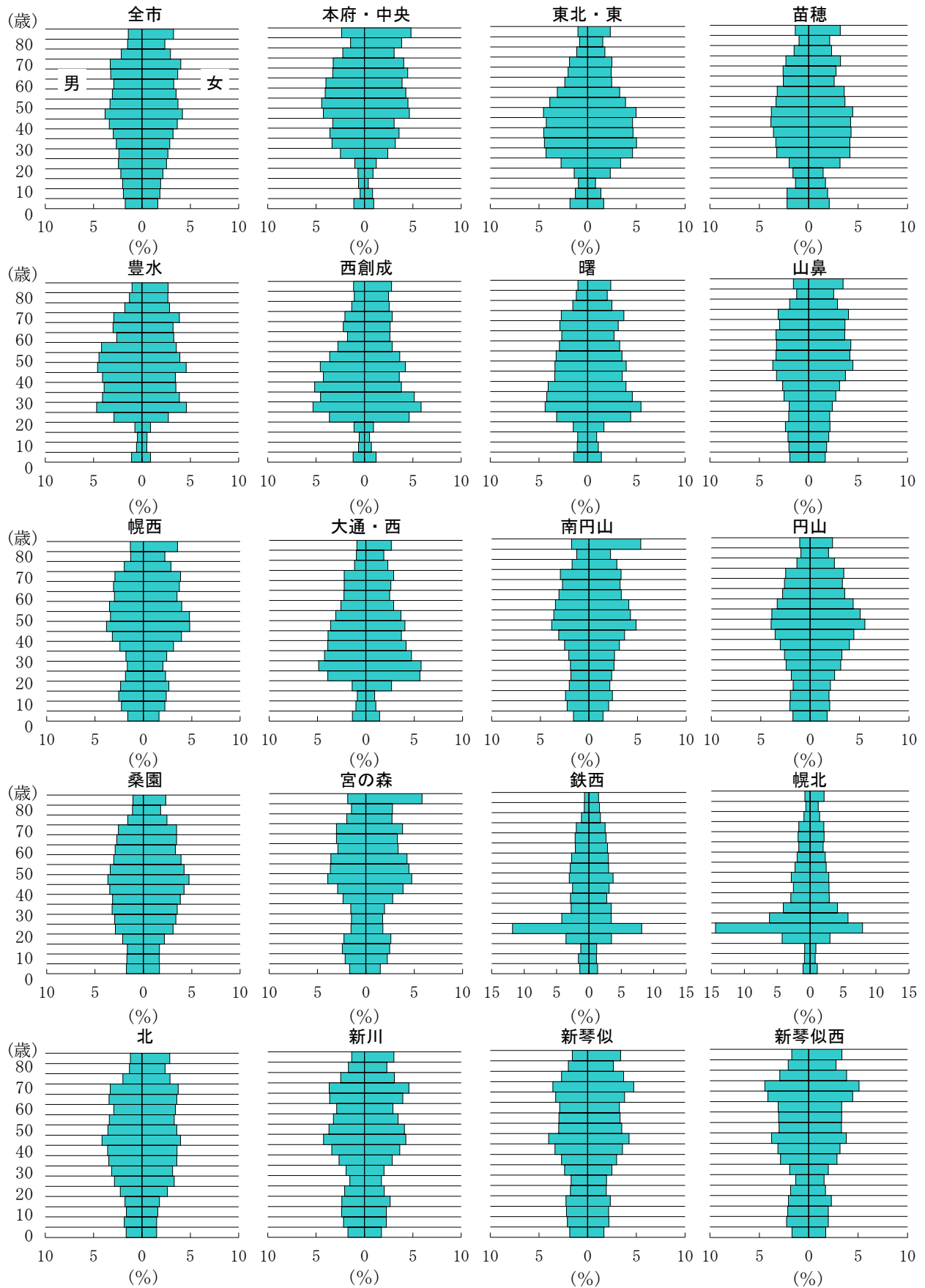
注： 第6-4表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

2 人口ピラミッド

第6-5図は各まちづくりセンターの年齢構造を人口ピラミッドで表したものである。

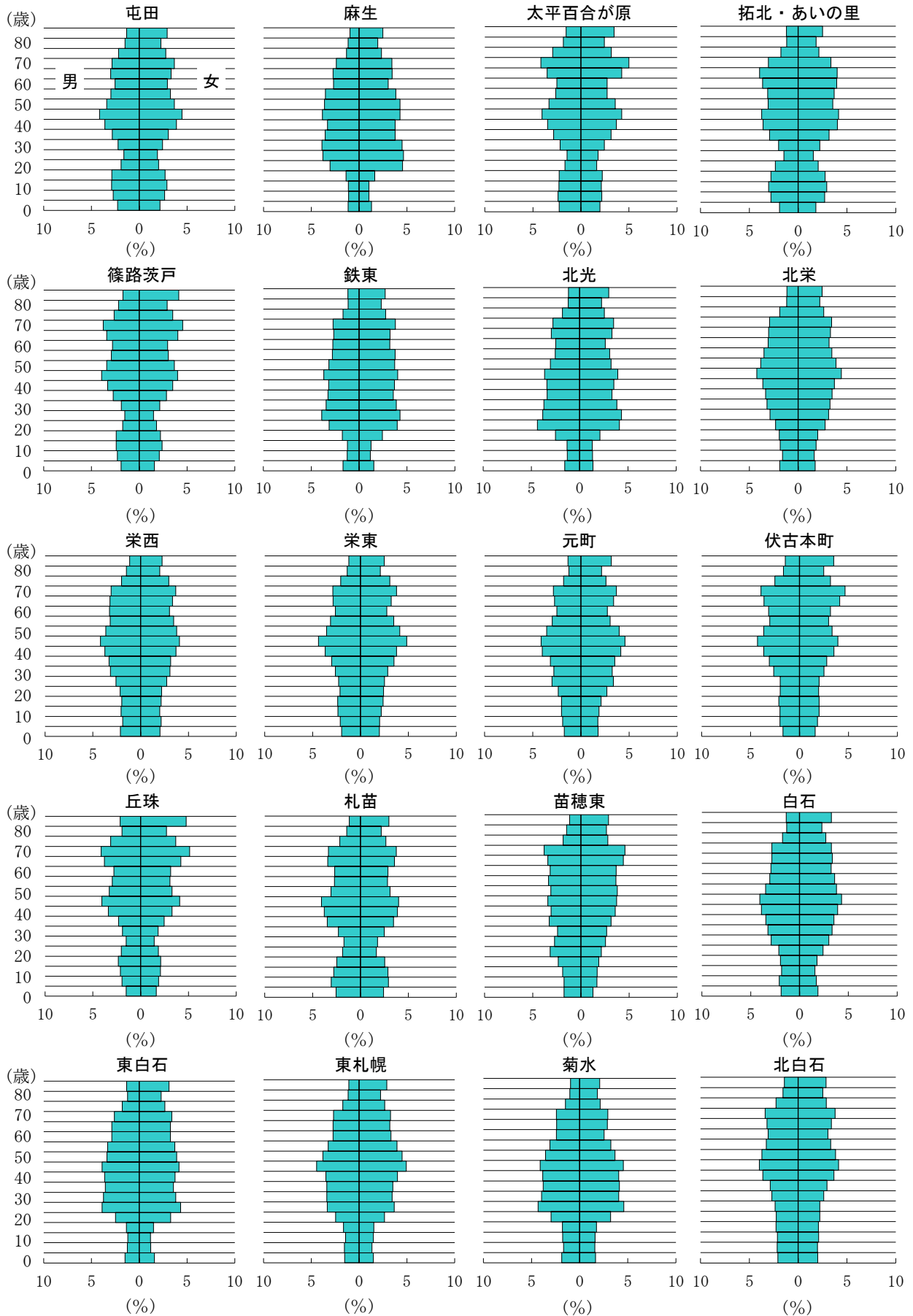
第6-5図 まちづくりセンター別人口ピラミッド（令和2年10月1日現在）



注： 年齢「不詳」を除いて算出。

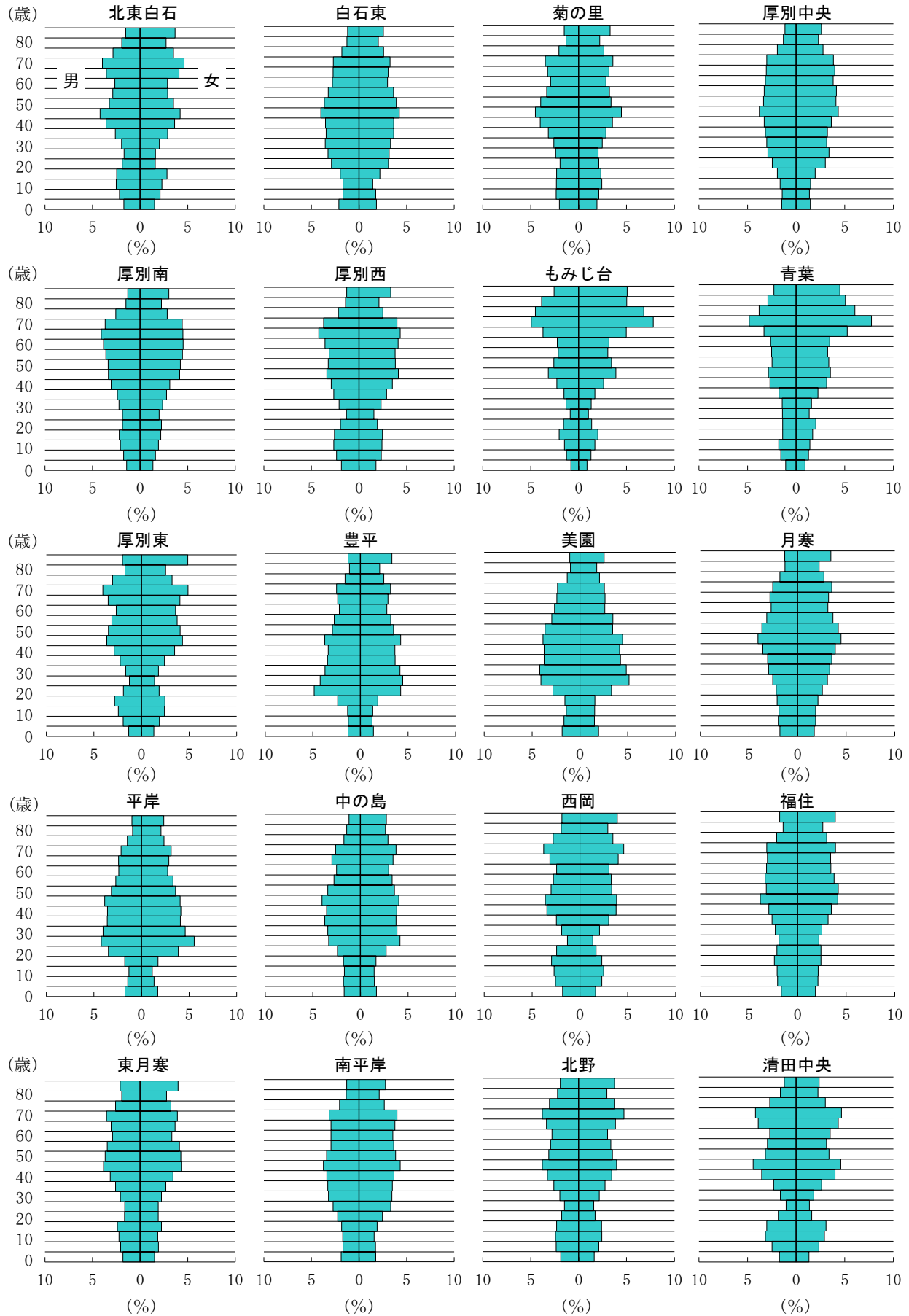
<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-5図 まちづくりセンター別人口ピラミッド（令和2年10月1日現在）－つづき－



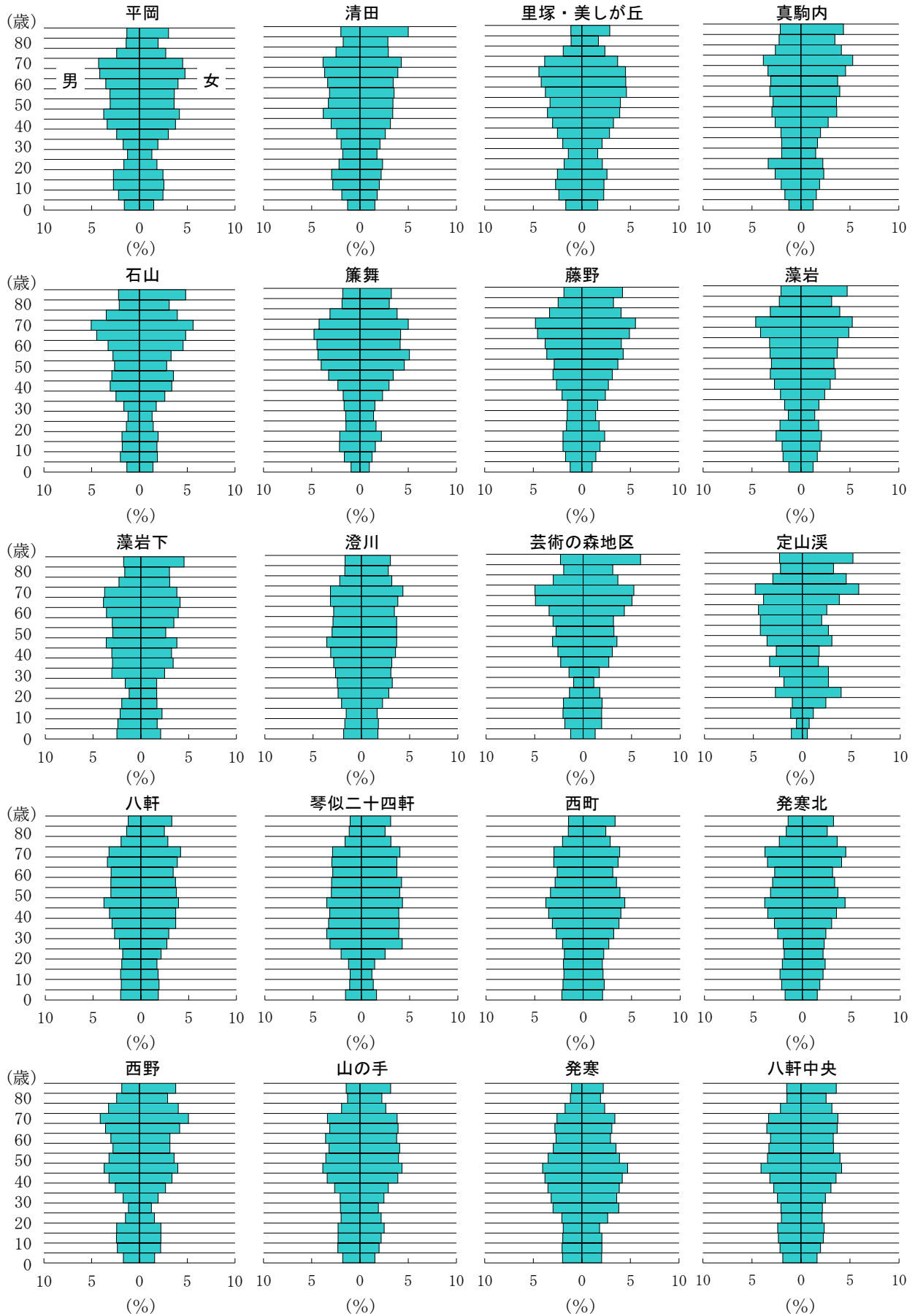
注： 年齢「不詳」を除いて算出。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-5図 まちづくりセンター別人口ピラミッド（令和2年10月1日現在）－つづき－



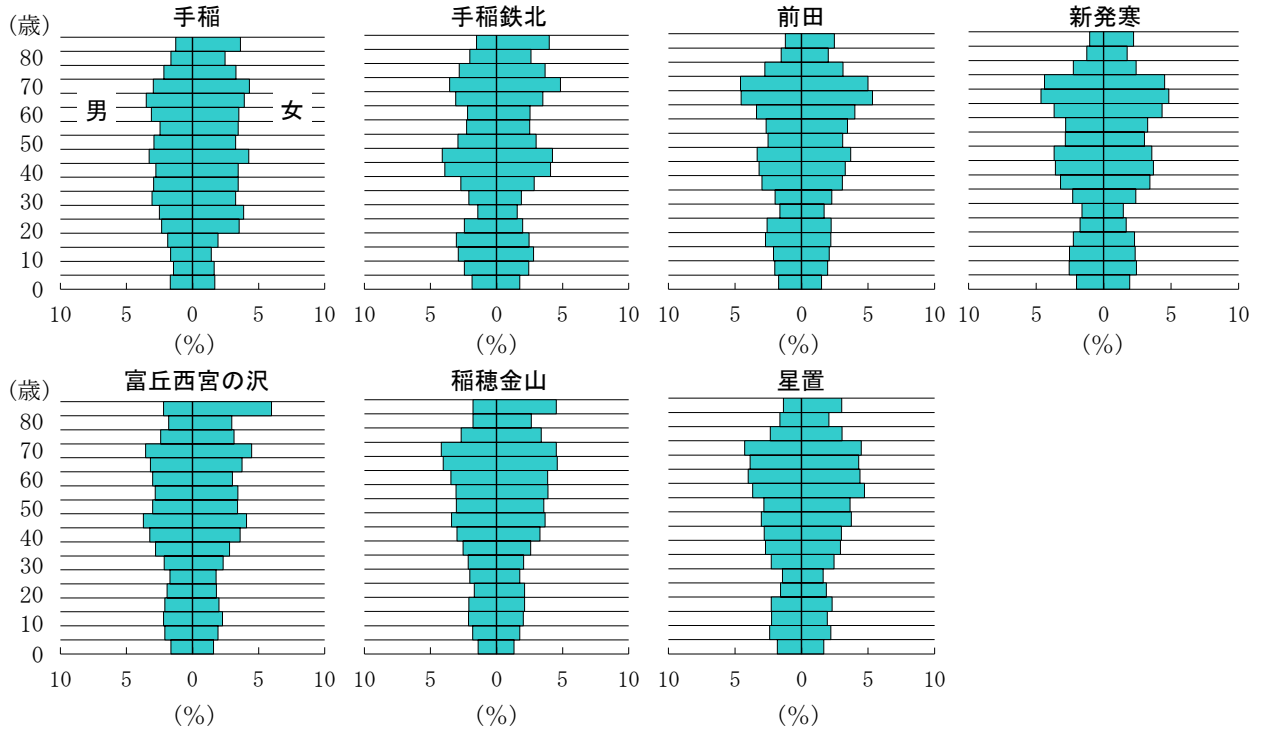
注：年齢「不詳」を除いて算出。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-5図 まちづくりセンター別人口ピラミッド（令和2年10月1日現在）－つづき－



注： 年齢「不詳」を除いて算出。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-5図 まちづくりセンター別人口ピラミッド（令和2年10月1日現在）－つづき－



注： 年齢「不詳」を除いて算出。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

3 労働力状態

(1) 男女別労働力率

男性の労働力率は、中央区の「東北・東」が80.1%で唯一8割を超える（第6-5表、第6-6図）

令和2年10月1日現在の男女の労働力状態について、労働力率（労働力状態「不詳」を除いた15歳以上人口に占める「労働力人口」の割合）をまちづくりセンター別にみる。

男性の労働力率が高いまちづくりセンターをみると、中央区の「東北・東」が80.1%で唯一8割を超

えて最も高く、以下、豊平区の「美園」が79.5%、白石区の「菊水」が79.2%などと続いている。

一方、労働力率の低いまちづくりセンターをみると、厚別区の「もみじ台」が54.9%で最も低く、以下、

第6-5表 男の労働力率の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

15歳以上人口に関する数値であり、労働力状態「不詳」を除いて算出。

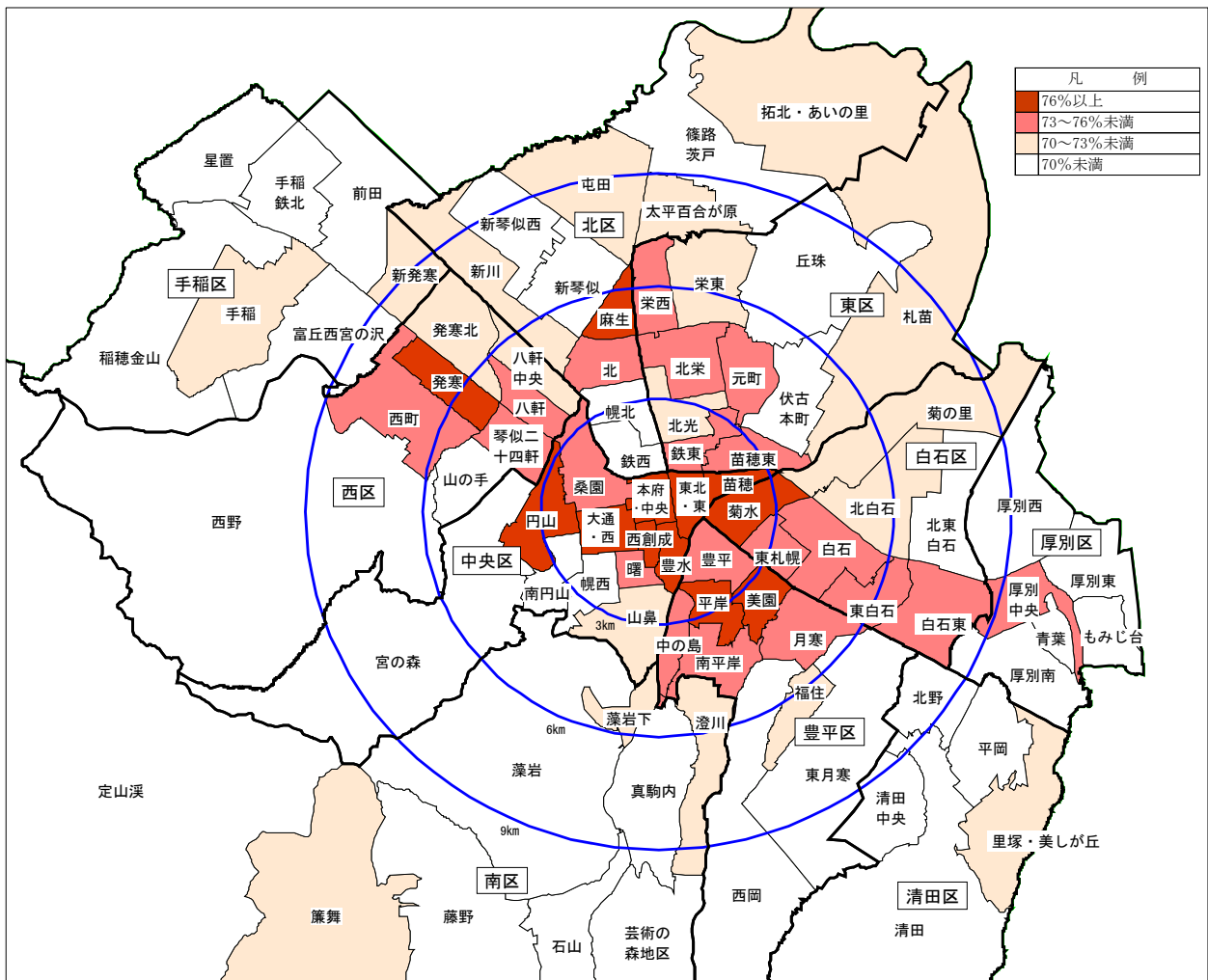
(単位 %)

令和2年10月1日現在

順位	男の労働力率の高いまちづくりセンター		順位	男の労働力率の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	中) 東北・東	80.1	1	厚) もみじ台	54.9
2	豊) 美園	79.5	2	厚) 青葉	57.8
3	白) 菊水	79.2	3	南) 芸術の森地区	59.8
4	中) 西創成	79.1	4	東) 伏古本町	62.2
5	中) 豊水	78.3	5	清) 清田	62.8
6	中) 苗穂	77.8	5	南) 藻岩	62.8
6	豊) 平岸	77.8	7	厚) 厚別東	63.1
8	中) 大通・西	76.6	8	北) 幌北	63.2
8	北) 麻生	76.6	9	北) 鉄西	63.5
10	中) 円山	76.4	10	南) 石山	63.8

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-6図 まちづくりセンター別労働力率（男）（令和2年10月1日現在）



注： 第6-5表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

厚別区の「青葉」が57.8%、南区の「芸術の森地区」が59.8%などと続いている。男性の労働力率が6割を下回っているのはこの3つのまちづくりセンターのみである。

男性の労働力率は、地下鉄沿線が高い傾向があり、老年人口割合の高い地域や大学の周辺では低い傾向がみられる。

女性の労働力率は、豊平区の「平岸」が63.2%で最も高い（第6-6表、第6-7図）

女性の労働力率が高いまちづく

りセンターをみると、豊平区の「平岸」が63.2%で最も高く、以下、豊平区の「美園」が63.1%、白石区の「菊水」が62.9%などと続いている。

第6-7図 まちづくりセンター別労働力率（女）（令和2年10月1日現在）

第6-6表 女の労働力率の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

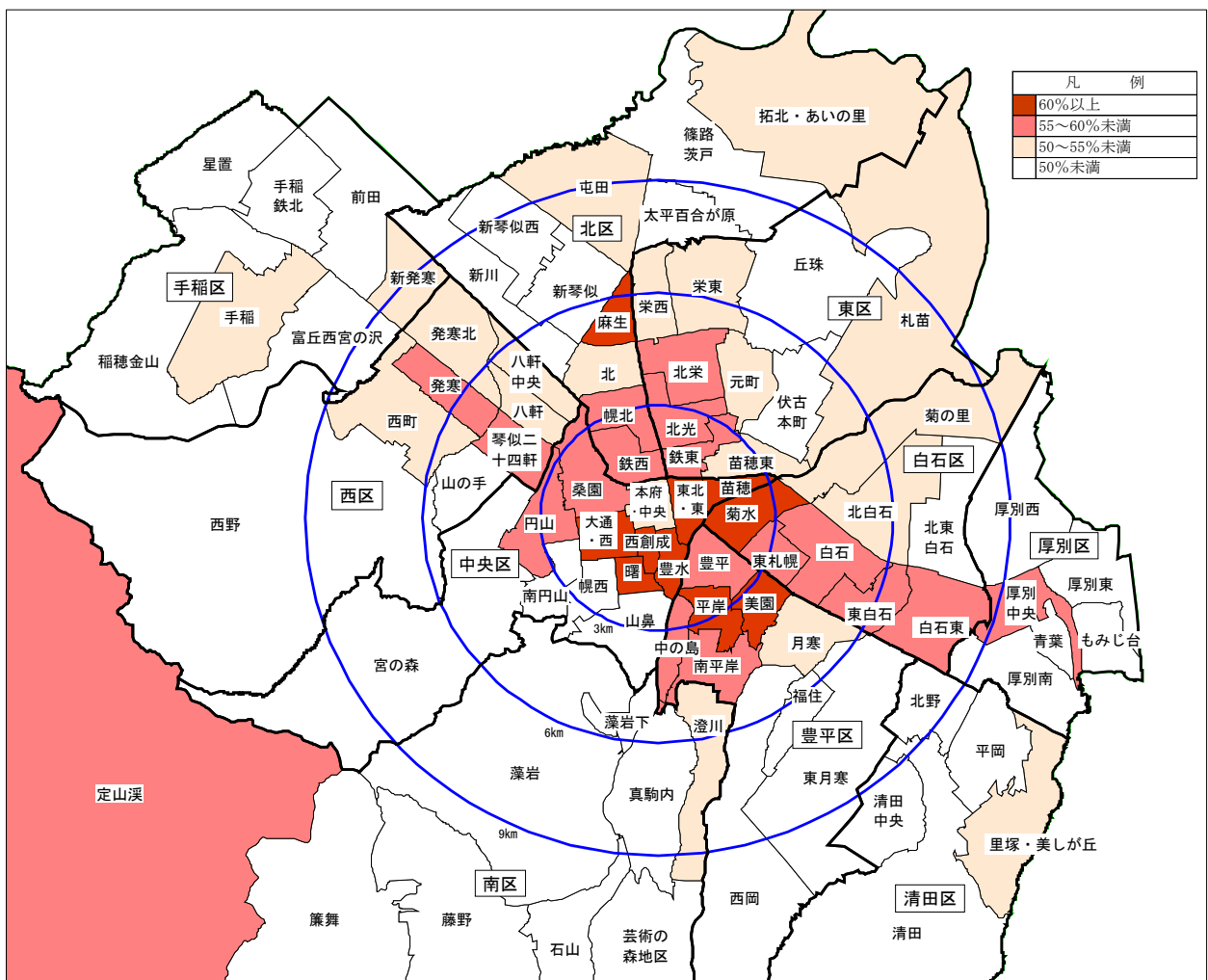
15歳以上人口に関する数値であり、労働力状態「不詳」を除いて算出。

（単位 %）

令和2年10月1日現在

順位	女の労働力率の高いまちづくりセンター		順位	女の労働力率の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	豊) 平岸	63.2	1	厚) もみじ台	39.8
2	豊) 美園	63.1	2	厚) 青葉	41.8
3	白) 菊水	62.9	3	南) 芸術の森地区	42.4
4	北) 麻生	62.8	4	厚) 厚別東	43.3
5	中) 大通・西	62.2	5	中) 宮の森	44.4
6	中) 西創成	61.7	6	清) 清田	44.7
7	中) 曙	61.1	7	南) 石山	44.8
8	中) 東北・東	60.7	8	南) 藻岩	45.0
9	中) 豊水	60.3	9	南) 真駒内	45.3
10	中) 苗穂	60.2	10	南) 藻岩下	45.6

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」



注： 第6-6表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

一方、労働力率の低いまちづくりセンターをみると、厚別区の「もみじ台」が39.8%で唯一4割を下回り最も低く、以下、厚別区の「青葉」が41.8%、南区の「芸術の森地区」が42.4%などと続いている。女性の労働力率の高いまちづくりセンターは、都心から3km未満の地域や地下鉄沿線に多くみられる。

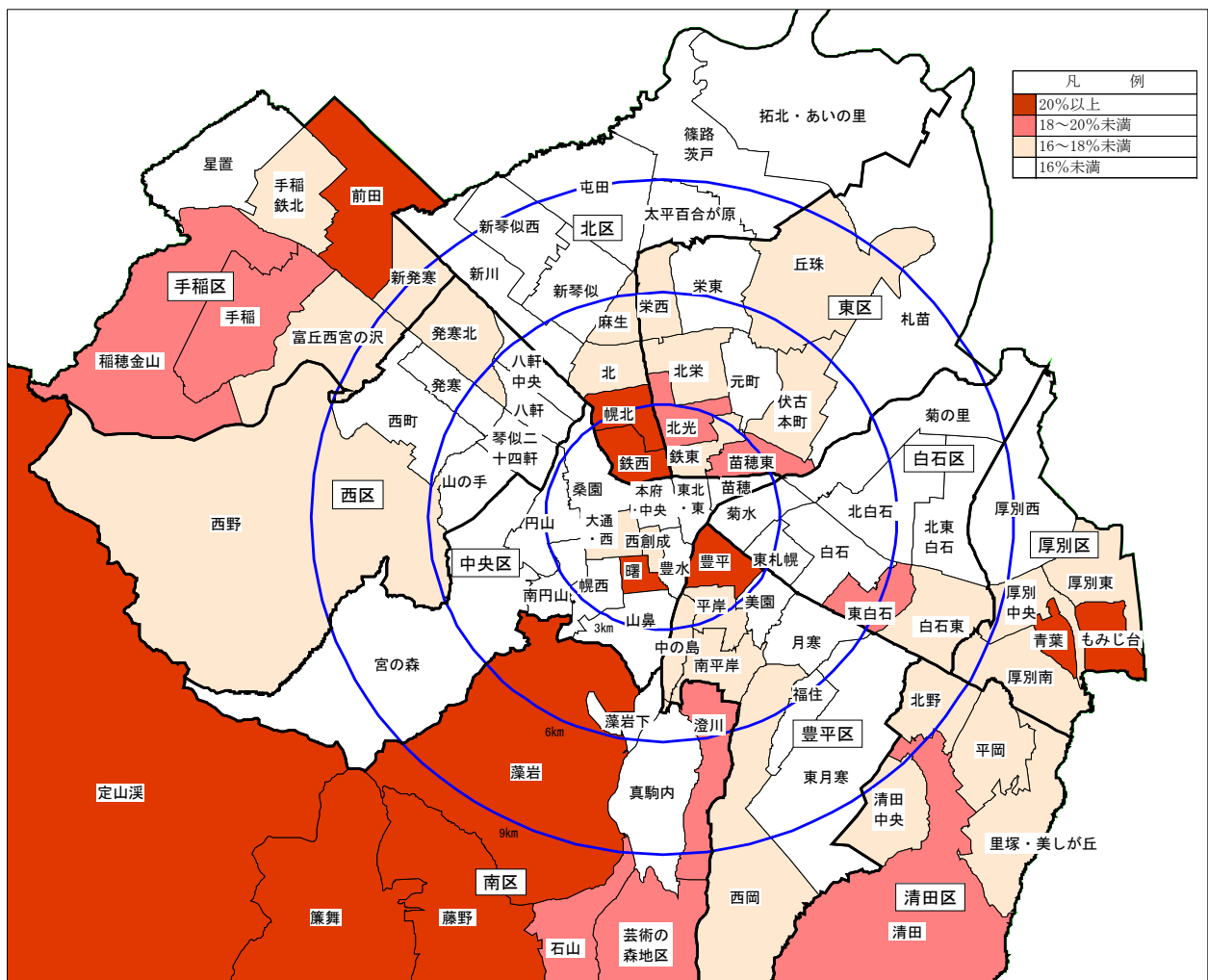
(2) 男女別、正規及び非正規の職員・従業員割合

男性の非正規の職員・従業員割合は、大学周辺の北区の「幌北」や「鉄西」などで高い(第6-7表、第6-8図)

15歳以上就業者の従業上の地位について、正規の職員・従業員及び非正規の職員・従業員(「労働者派遣事業所の派遣社員」及び「パート・アルバイト・その他」の合計)別の割合(従業上の地位「不詳」を除いた15歳以上就業者に占める割合)に注目する。

男性の正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンターをみると、西区の「発寒」が72.9%で最も高く、以下、中央区の「東北・東」が70.9%、豊平区の「月寒」及び南区の「真駒内」が70.6%などと続いている。

第6-8図 まちづくりセンター別非正規の職員・従業員割合(男)(令和2年10月1日現在)



注： 第6-7表参照。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

一方、非正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンターをみると、北区の「幌北」が37.9%で4割に迫り最も高く、以下、北区の「鉄西」が28.3%、厚別区の「もみじ台」が27.4%などと続いている。非正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンターは、大学の周辺や老年人口割合の高い地域で多くみられる。

女性の非正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンターは、都心から9km以上の地域に多い(第6-8表、第6-9図)

女性の正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンターをみると、中央区の「東北・東」が55.1%で最も高く、以下、西区の「琴似二十四軒」が53.5%、中央区の「桑園」が52.8%などと続いている。

一方、非正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンターをみると、厚別区の「もみじ台」が68.9%で7割近くを占めて最も高く、以下、厚別区の「青葉」が58.7%、南区の「石山」が57.3%などと続いている。

女性の非正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンターは、都心から9km以上の地域で多くみられる。

第6-7表 男の正規の職員・従業員及び非正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンター

15歳以上就業者に関する数値であり、従業上の地位「不詳」を除いて算出。

(単位 %) 令和2年10月1日現在

順位	男の正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンター		順位	男の非正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	西) 発寒	72.9	1	北) 幌北	37.9
2	中) 東北・東	70.9	2	北) 鉄西	28.3
3	豊) 月寒	70.6	3	厚) もみじ台	27.4
3	南) 真駒内	70.6	4	厚) 青葉	23.0
5	白) 東札幌	70.5	5	南) 藻岩	21.1
5	西) 琴似二十四軒	70.5	6	中) 曙	20.9
7	豊) 美園	70.2	6	南) 藤野	20.9
8	厚) 厚別中央	70.1	8	南) 簾舞	20.7
8	西) 八軒	70.1	9	手) 前田	20.4
10	手) 星置	69.8	10	豊) 豊平	20.3
			10	南) 定山溪	20.3

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-8表 女の正規の職員・従業員及び非正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンター

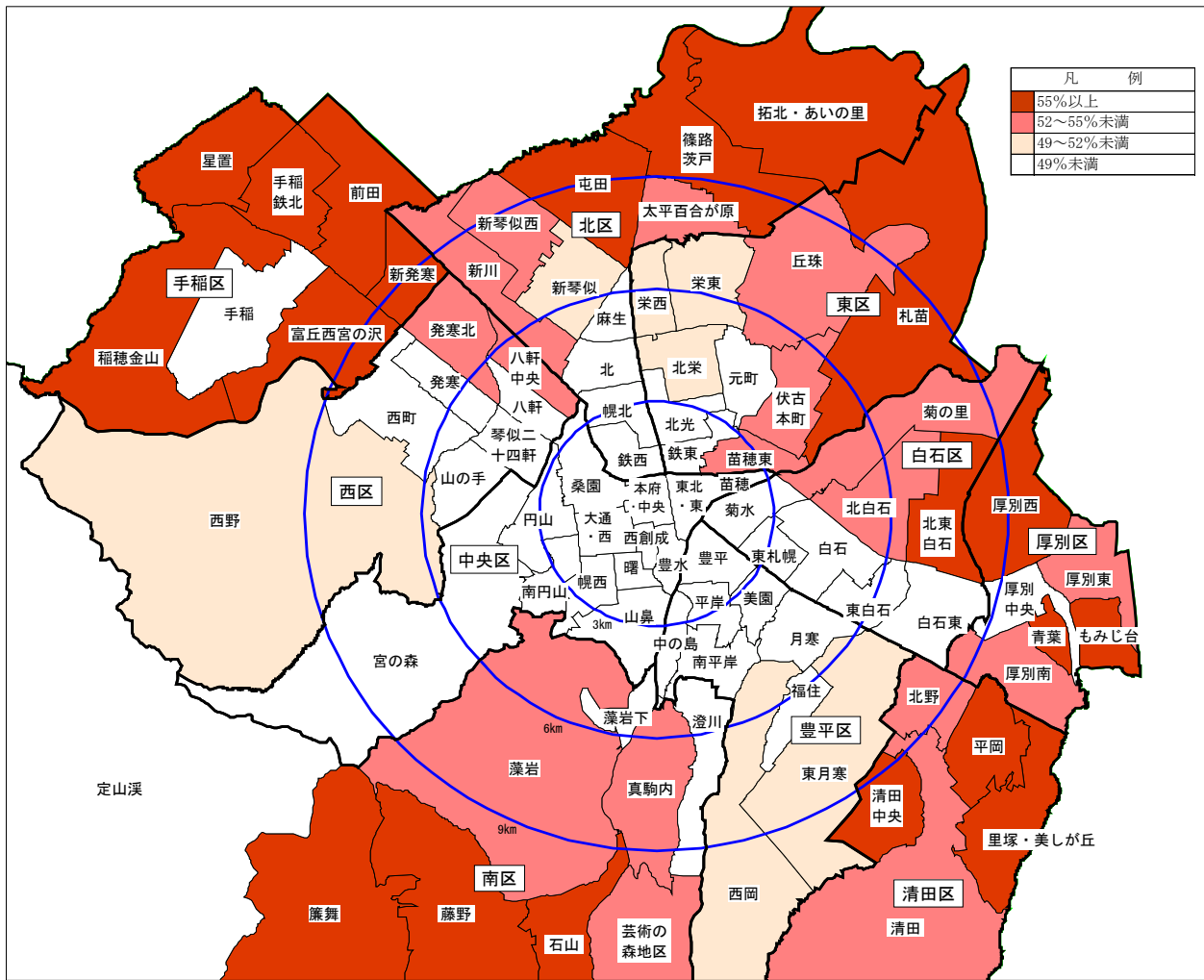
15歳以上就業者に関する数値であり、従業上の地位「不詳」を除いて算出。

(単位 %) 令和2年10月1日現在

順位	女の正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンター		順位	女の非正規の職員・従業員割合の高いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	中) 東北・東	55.1	1	厚) もみじ台	68.9
2	西) 琴似二十四軒	53.5	2	厚) 青葉	58.7
3	中) 桑園	52.8	3	南) 石山	57.3
4	北) 麻生	52.6	4	東) 札苗	57.1
5	中) 大通・西	51.6	5	清) 清田中央	56.5
5	豊) 平岸	51.6	6	厚) 厚別西	56.4
7	中) 円山	50.6	7	清) 平岡	56.3
8	中) 苗穂	50.3	7	手) 新発寒	56.3
8	手) 手稲	50.3	9	清) 里塚・美しが丘	56.2
10	豊) 美園	50.1	10	北) 拓北・あいの里	55.9

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-9図 まちづくりセンター別非正規の職員・従業員割合（女）（令和2年10月1日現在）



注： 第6-8表参照。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

(3) 夫婦の就業状態
 共働き世帯の割合は、南区の「定山溪」が62.6%で唯一6割を超える（第6-9表、第6-10図）

夫婦のいる一般世帯について、夫婦の就業・非就業別の割合（夫または妻の労働力状態「不詳」を除いた夫婦のいる一般世帯総数に占める割合）に注目する。

夫婦ともに就業者のいわゆる「共働き世帯」の割合が高いまちづくりセンターをみると、南区の「定山溪」が62.6%で唯一6割を超えて最も高く、以下、中央区の「苗穂」が54.8%、白石区の「菊

第6-9表 共働き世帯割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

夫婦のいる一般世帯総数に占める割合であり、夫または妻の労働力状態「不詳」を除いて算出。

(単位 %) 令和2年10月1日現在

順位	共働き世帯割合の高いまちづくりセンター		順位	共働き世帯割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	南) 定山溪	62.6	1	厚) もみじ台	30.7
2	中) 苗穂	54.8	2	厚) 青葉	32.4
3	白) 菊水	53.2	3	南) 真駒内	37.8
4	中) 西創成	52.3	4	南) 石山	38.8
5	豊) 美園	52.1	5	厚) 厚別東	40.7
6	東) 札苗	51.2	6	南) 藤野	40.8
7	豊) 平岸	51.1	7	手) 前田	40.9
8	北) 屯田	50.7	8	南) 藻岩	41.6
9	北) 幌北	50.6	9	厚) 厚別南	42.2
10	北) 拓北・あいの里	50.4	10	中) 山鼻	43.1
			10	北) 新琴似西	43.1
			10	南) 藻岩下	43.1

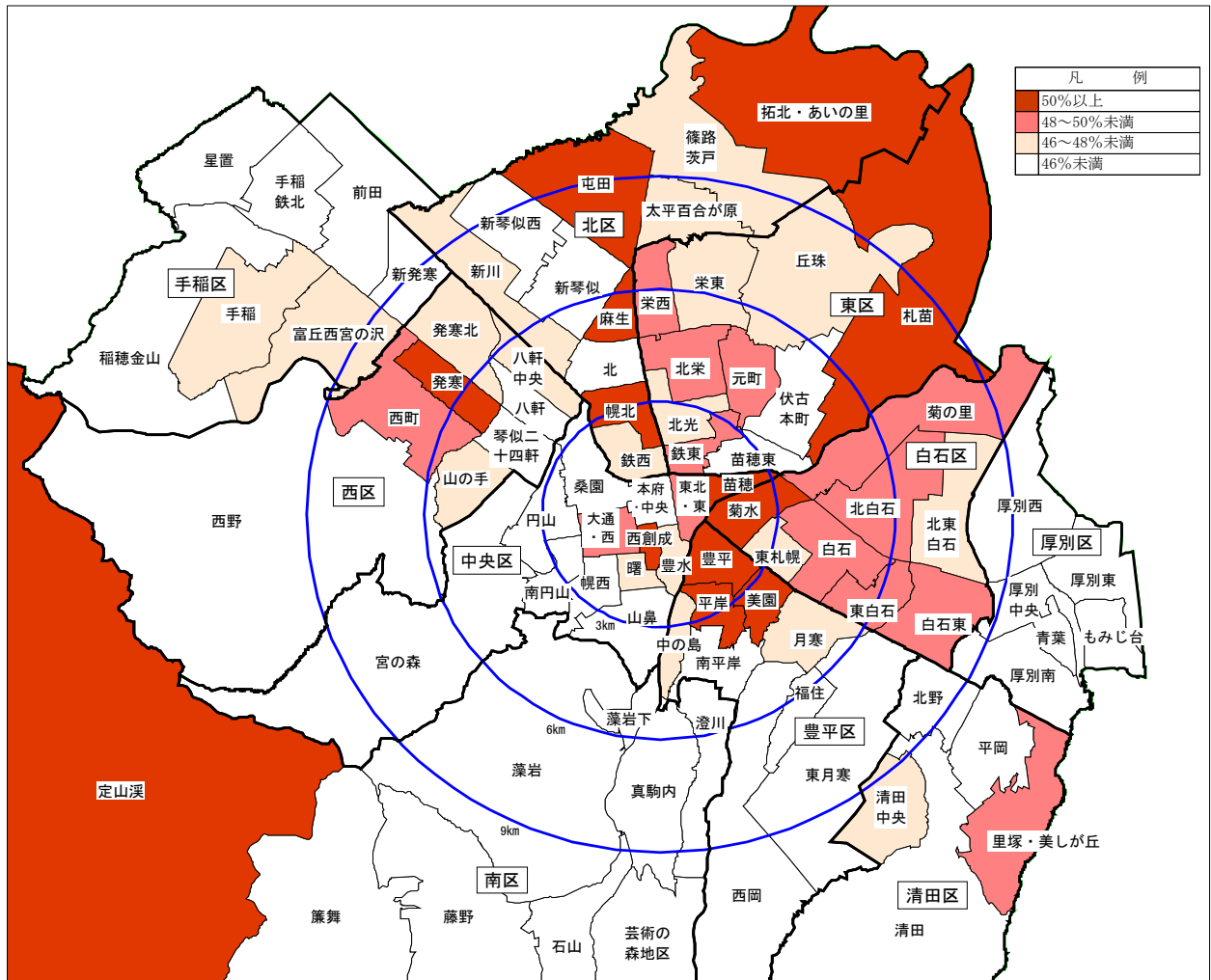
<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

水」が53.2%などと続いている。

一方、共働き世帯の割合が低いまちづくりセンターをみると、厚別区の「もみじ台」が30.7%で最も低く、以下、厚別区の「青葉」が32.4%、南区の「真駒内」が37.8%などと続いている。

共働き世帯の割合は、都心から3km未満の地域にある中央区の「苗穂」や白石区の「菊水」などのほか、都心から9km以上離れた南区の「定山溪」及び北区や東区の新興住宅地を含むまちづくりセンターなどで高くなっている。

第6-10図 まちづくりセンター別共働き世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第6-9表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

4 職業別常住就業者

「専門的・技術的職業従事者」の割合は、北区の「鉄西」で約4割を占めて最も高い（第6-10表、第6-11図）

令和2年10月1日現在の15歳以上常住就業者について、主な職業別割合をまちづくりセンター別にみる。

研究者、医師、看護師などを含む「専門的・技術的職業従事者」の割合が高いまちづくりセンターをみると、北区の「鉄西」が39.5%と約4割を占めて最も高く、以下、北区の「幌北」が33.0%と3分の1近くを占め、中央区の「南円山」が31.4%などと続いている。

「専門的・技術的職業従事者」の割合は、北海道大学周辺のまちづくりセンターや、中央区の「南円山」、「宮の森」、「円山」など南西部のまちづくりセンターで高い傾向がみられる。

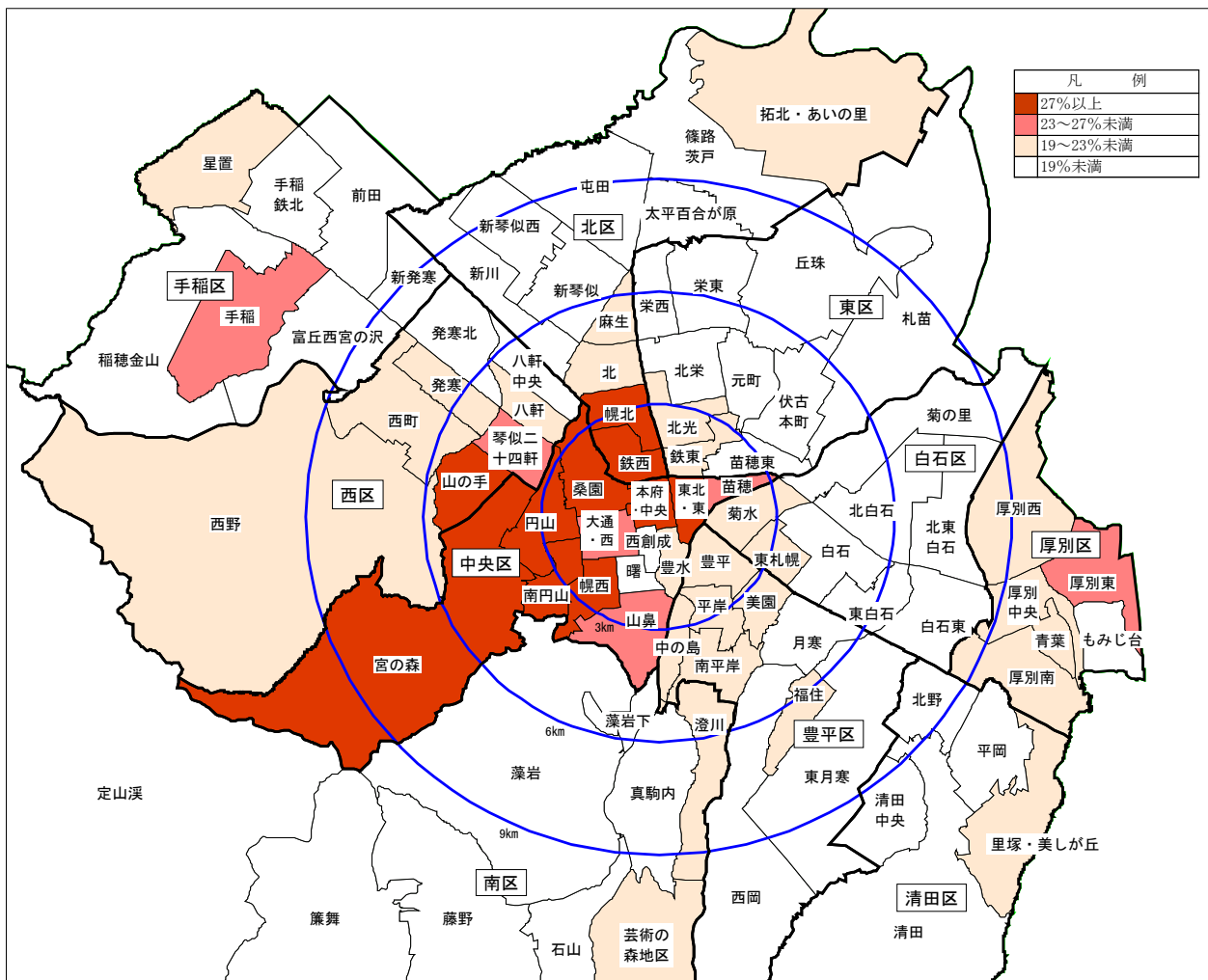
第6-10表 専門的・技術的職業従事者割合の高いまちづくりセンター

15歳以上常住就業者に関する数値である。

(単位 %)		令和2年10月1日現在
順位	まちづくりセンター	割合
1	北) 鉄西	39.5
2	北) 幌北	33.0
3	中) 南円山	31.4
4	中) 宮の森	31.1
5	中) 桑園	30.1
6	中) 円山	30.0
7	中) 本府・中央	28.4
8	中) 幌西	27.4
9	西) 山の手	27.2
10	中) 東北・東	27.0

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-11図 まちづくりセンター別専門的・技術的職業従事者割合（令和2年10月1日現在）



注： 第6-10表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

「事務従事者」の割合が高い上位5つは白石区内のまちづくりセンターが占める(第6-11表、第6-12図)

事務員などを含む「事務従事者」の割合が高いまちづくりセンターをみると、白石区の「東札幌」が32.6%と3分の1近くを占めて最も高く、以下、白石区の「菊水」が30.6%、白石区の「東白石」が28.8%などと続いている。

「事務従事者」の割合が高い上位5つのまちづくりセンターは、全て白石区のまちづくりセンターが占めている。

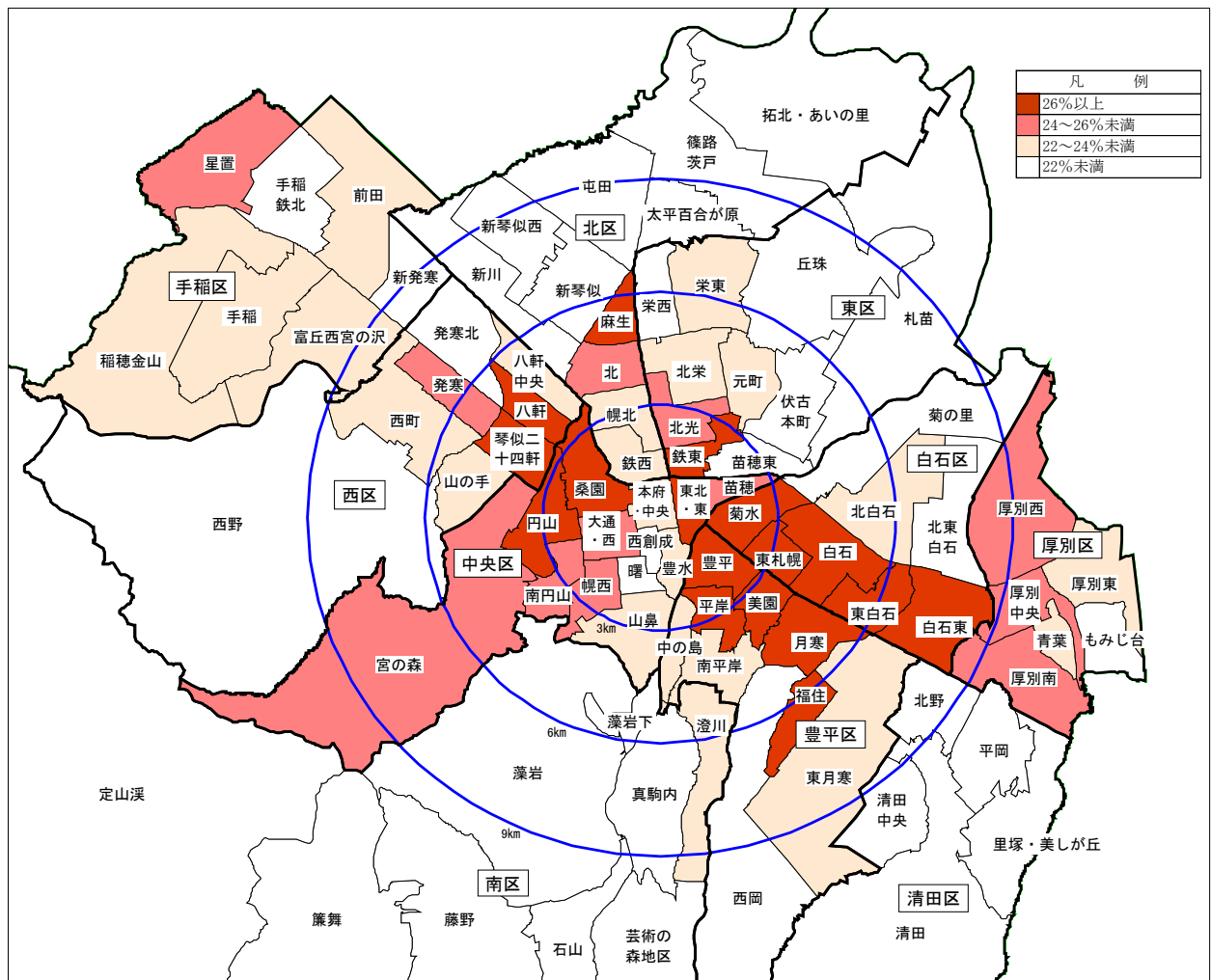
第6-11表 事務従事者割合の高いまちづくりセンター

15歳以上常住就業者に関する数値である。

(単位 %)		令和2年10月1日現在
順位	まちづくりセンター	割合
1	白) 東札幌	32.6
2	白) 菊水	30.6
3	白) 東白石	28.8
4	白) 白石	28.4
5	白) 白石東	27.4
6	中) 桑園	27.2
7	中) 東北・東	27.1
8	西) 琴似二十四軒	26.9
9	北) 麻生	26.8
10	豊) 月寒	26.7

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-12図 まちづくりセンター別事務従事者割合(令和2年10月1日現在)



注： 第6-11表参照。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

「販売従事者」の割合は、中央区の「東北・東」及び中央区の「豊水」でそれぞれ約2割を占め最も高い（第6-12表、第6-13図）

販売店員などを含む「販売従事者」の割合が高いまちづくりセンターをみると、中央区の「東北・東」及び中央区の「豊水」が19.2%と約2割を占めて最も高く、次いで、中央区の「本府・中央」が17.6%などと続いている。

「販売従事者」の割合は、中央区の都心から3km未満のまちづくりセンターや、豊平区や清田区のまちづくりセンターなどで高い傾向がみられる。

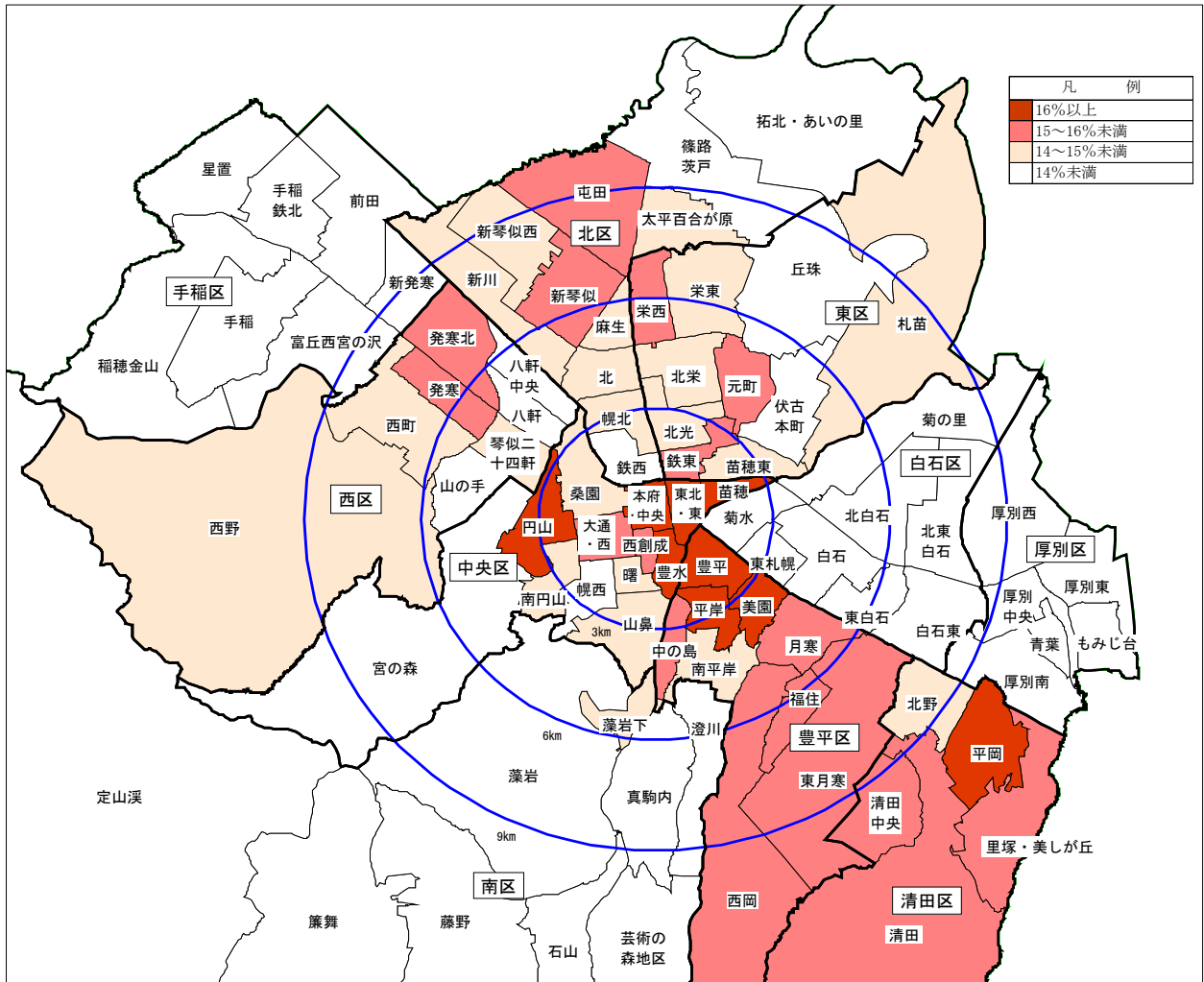
第6-12表 販売従事者割合の高いまちづくりセンター

15歳以上常住就業者に関する数値である。

(単位 %)		令和2年10月1日現在
順位	まちづくりセンター	割合
1	中) 東北・東	19.2
1	中) 豊水	19.2
3	中) 本府・中央	17.6
4	清) 平岡	17.4
5	中) 苗穂	16.7
6	中) 円山	16.4
7	豊) 豊平	16.3
8	豊) 美園	16.1
9	豊) 平岸	16.0
10	東) 鉄東	15.9
10	豊) 西岡	15.9
10	豊) 東月寒	15.9

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-13図 まちづくりセンター別販売従事者割合（令和2年10月1日現在）



注： 第6-12表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

「サービス職業従事者」の割合は、南区の「定山溪」や、歓楽街周辺のまちづくりセンターで特に高い（第6-13表、第6-14図）

介護職員及び接客・給仕職業従事者などを含む「サービス職業従事者」の割合が高いまちづくりセンターをみると、南区の「定山溪」が48.7%で5割近くを占めて最も高く、以下、中央区の「西創成」が27.6%、中央区の「曙」が22.0%などと続いている。

「サービス職業従事者」の割合は、南区の「定山溪」のほか、歓楽街周辺の中央区の「西創成」や中央区の「曙」で特に高くなっている。

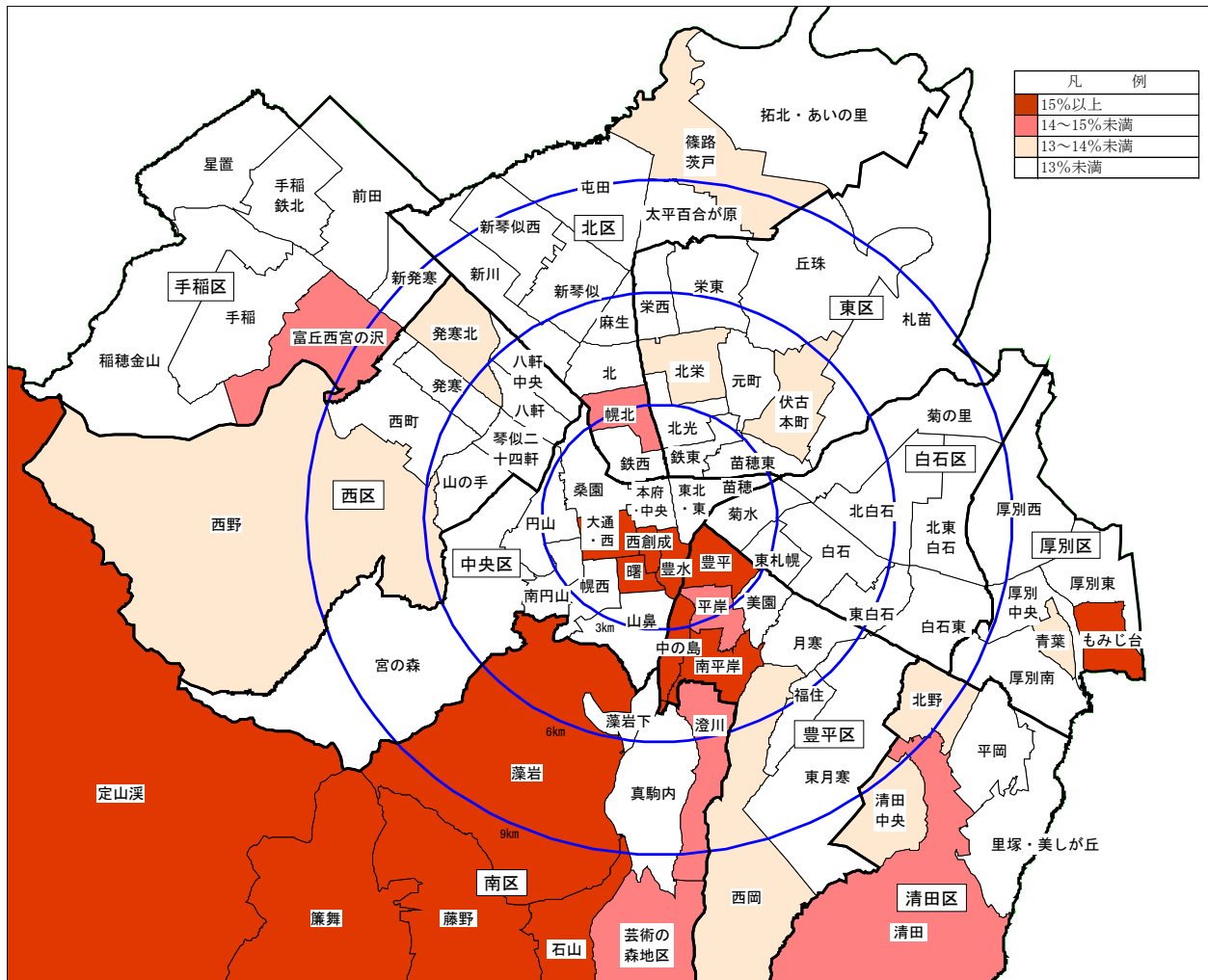
第6-13表 サービス職業従事者割合の高いまちづくりセンター

15歳以上常住就業者に関する数値である。

(単位 %)		令和2年10月1日現在
順位	まちづくりセンター	割合
1	南) 定山溪	48.7
2	中) 西創成	27.6
3	中) 曙	22.0
4	南) 簾舞	19.1
5	南) 藤野	18.5
6	中) 豊水	18.1
7	中) 大通・西	17.5
8	南) 石山	16.9
9	豊) 豊平	16.3
10	南) 藻岩	15.9

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-14図 まちづくりセンター別サービス職業従事者割合（令和2年10月1日現在）



注： 第6-13表参照。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

「生産工程従事者」の割合は、区域内またはその周辺に工業団地が所在するまちづくりセンターで高い（第6-14表、第6-15図）

製品製造・加工処理従事者などを含む「生産工程従事者」の割合が高いまちづくりセンターをみると、西区の「発寒北」が12.0%で最も高く、以下、厚別区の「もみじ台」が11.2%、手稲区の「手稲鉄北」が11.1%などと続いている。

「生産工程従事者」の割合は、区域内またはその周辺に工業団地が所在するまちづくりセンターなどで高くなっている。

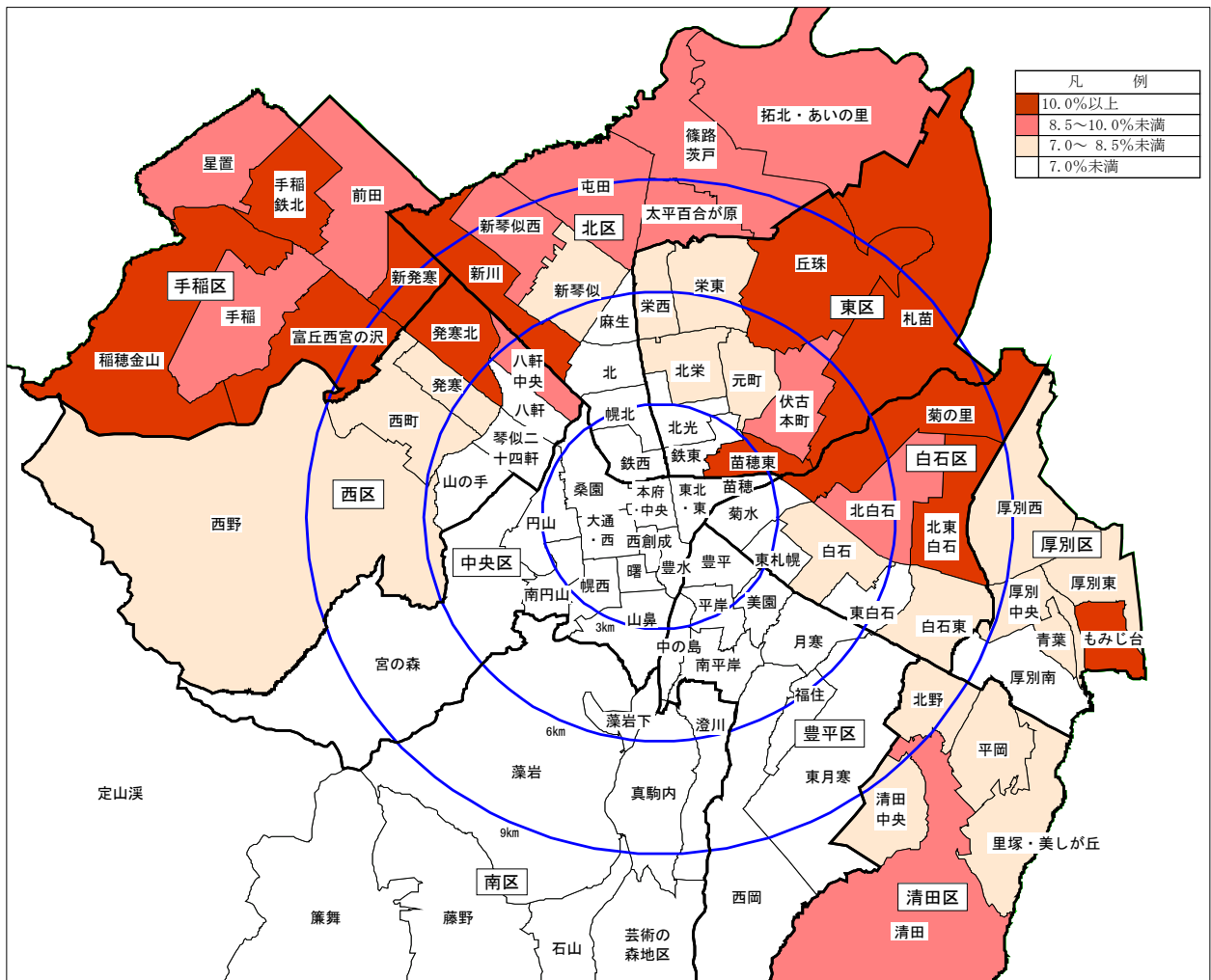
第6-14表 生産工程従事者割合の高いまちづくりセンター

15歳以上常住就業者に関する数値である。

(単位 %)		令和2年10月1日現在
順位	まちづくりセンター	割合
1	西) 発寒北	12.0
2	厚) もみじ台	11.2
3	手) 手稲鉄北	11.1
4	手) 新発寒	11.0
5	東) 札苗	10.6
5	東) 苗穂東	10.6
7	手) 稲穂金山	10.5
8	白) 菊の里	10.4
8	手) 富丘西宮の沢	10.4
10	東) 丘珠	10.3

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-15図 まちづくりセンター別生産工程従事者割合（令和2年10月1日現在）



注： 第6-14表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

5 居住期間

居住期間が「出生時から」または「10年以上」の人口割合は、一戸建に住む世帯の割合が高いまちづくりセンターなどで高い傾向（第6-15表、第6-16図）

令和2年10月1日現在の居住期間（その世帯の世帯員が現在の場所に住んでいる期間）が「出生時から」または「10年以上」の人口割合をまちづくりセンター別にみると、南区の「簾舞」が78.8%で最も高く、以下、清田区の「清田中央」が74.0%、南区の「藤野」が73.8%などと続いている。

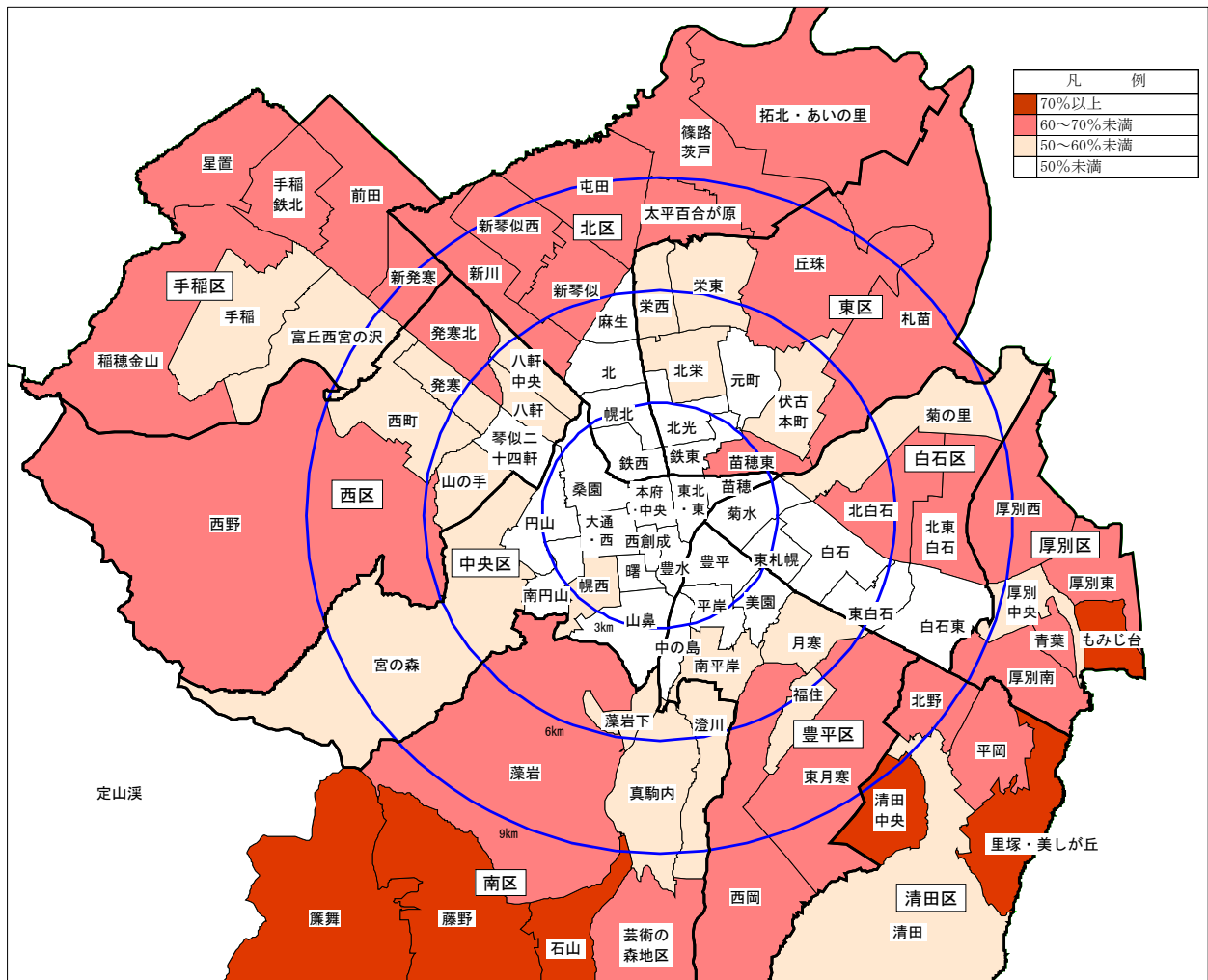
第6-15表 居住期間が「出生時から」または「10年以上」の人口割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

居住期間「不詳」を除いて算出。

(単位 %)		令和2年10月1日現在			
順位	居住期間が「出生時から」または「10年以上」の人口割合の高いまちづくりセンター	割合	順位	居住期間が「出生時から」または「10年以上」の人口割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター			割合	まちづくりセンター
1	南) 簾舞	78.8	1	北) 幌北	26.9
2	清) 清田中央	74.0	2	中) 東北・東	32.0
3	南) 藤野	73.8	3	北) 鉄西	33.3
4	厚) もみじ台	71.1	4	中) 大通・西	33.6
5	清) 里塚・美しが丘	70.0	5	中) 西創成	36.4
5	南) 石山	70.0	6	中) 本府・中央	38.9
7	手) 新発寒	69.9	7	南) 定山溪	39.6
8	清) 平岡	69.2	8	中) 豊水	39.7
9	西) 西野	69.0	9	豊) 平岸	41.7
10	北) 新琴似西	68.8	10	中) 曙	41.8

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-16図 まちづくりセンター別居住期間が「出生時から」または「10年以上」の人口割合（令和2年10月1日現在）



注： 第6-15表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

一方、居住期間が「出生時から」または「10年以上」の人口割合が低いまちづくりセンターをみると、北区の「幌北」が26.9%と3割未満で最も低く、以下、中央区の「東北・東」が32.0%、北区の「鉄西」が33.3%などと続いている。

居住期間が「出生時から」または「10年以上」の人口割合は、南区の「簾舞」や「藤野」、清田区の「清田中央」など一戸建に住む世帯の割合が高い地域や、「もみじ台団地」が所在する厚別区の「もみじ台」で高くなっている。

6 外国人人口

外国人人口は、都心から6km未満や留学生のいる大学周辺のまちづくりセンターで多い（第6-16表、第6-17図）

令和2年10月1日現在の外国人人口が多いまちづくりセンターをみると、北区の「幌北」が1,505人で唯一1千人を超えて最も多く、以下、北区の「鉄西」が410人、東区の「鉄東」が345人などと続いている。

外国人人口は、都心から6km未満の地域にあるまちづくりセンターで多い傾向がみられるほか、留学生が在籍する大学が所在する地域やその周辺地域のまちづくりセンターで多い傾向がある。

第6-16表 外国人人口の多いまちづくりセンター

令和2年10月1日現在

順位	まちづくりセンター	外国人人口
1	北) 幌北	1,505
2	北) 鉄西	410
3	東) 鉄東	345
4	中) 大通・西	321
4	中) 円山	321
6	豊) 豊平	297
7	東) 北光	268
8	中) 桑園	250
9	北) 北	237
10	中) 曙	231

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第6-17図 まちづくりセンター別外国人人口（令和2年10月1日現在）

